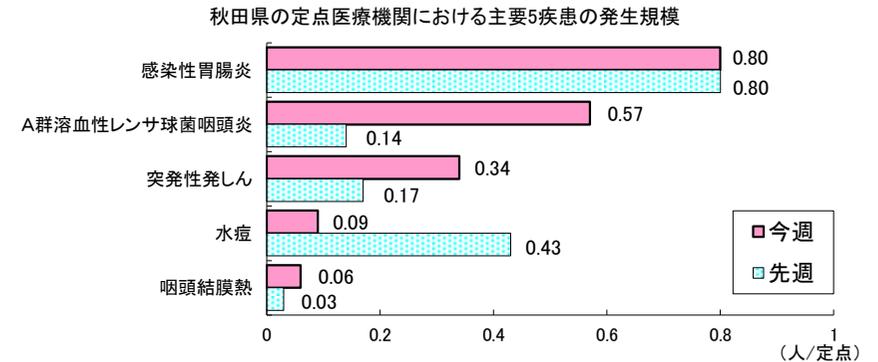




【第40週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. 感染性胃腸炎は、県全体で同規模です。保健所別では、秋田市、北秋田、能代、秋田中央で増加、大館、大仙、横手、湯沢で減少しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で4.1倍に増加しています。保健所別では、秋田市、大館、秋田中央、由利本荘、大仙、横手で増加、湯沢で同規模となっています。
3. 突発性発しんは、県全体で2.0倍に増加しています。保健所別では、秋田市、大館、北秋田、大仙、横手で増加、湯沢で同規模、由利本荘で減少しています。



発生報告

< 五類定点対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第39週	第40週	増減	第39週	第40週	増減	第39週	第40週	増減	第39週	第40週	増減	第39週	第40週	増減															
RSウイルス感染症																														
インフルエンザ																														
咽頭結膜熱	0.03	0.06	↗															0.25		↘		0.25	↗				0.25	↗		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.14	0.57	↗	0.29	0.71	↗		0.25	↗						0.25	0.50	↗		0.25	↗		0.25	2.25	↗		0.33	↗	0.25	0.25	
感染性胃腸炎	0.80	0.80		1.29	1.43	↗	0.75	0.25	↘		0.50	↗	1.00	2.67	↗	1.00	1.25	↗				0.50		↘	1.00	0.67	↘	1.00	0.25	↘
水痘	0.43	0.09	↘	0.43		↘	1.50		↘						0.75	0.75		0.50		↘							0.25		↘	
手足口病	0.03		↘	0.14		↘																								
伝染性紅斑	0.03		↘												0.25		↘													
突発性発しん	0.17	0.34	↗	0.14	0.71	↗	0.25	0.50	↗	0.50	1.00	↗						0.50		↘		0.25	↗		0.33	↗	0.25	0.25		
ヘルパンギーナ	0.11	0.06	↘	0.29	0.29								0.67		↘															
流行性耳下腺炎	0.03		↘															0.25		↘										
川崎病																														
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*										*	*		
流行性角結膜炎	0.43		↘	1.00		↘				*	*		*	*		*	*									*	*			
細菌性髄膜炎															*	*														
無菌性髄膜炎															*	*														
マイコプラズマ肺炎															*	*														
クラミジア肺炎(オウム病を除く)															*	*														
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)															*	*														

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が秋田市保健所管内から2人、報告されました。
- ・四類感染症のレジオネラ症が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症の梅毒が秋田市保健所管内から1人、湯沢保健所管内から1人、報告されました。
- ・指定感染症の新型コロナウイルス感染症が秋田市保健所管内から5人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	1週-39週		40週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	12618	70	2
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
三類	コレラ	1		
	細菌性赤痢	57		
	腸管出血性大腸菌感染症	2178	34	
四類	E型肝炎	319	2	
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	99		
	エキノコックス症	14		
	黄熱			
	オウム病	5		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	13		
	キャサナル森林病			
	Q熱			
	狂犬病	1		
	コクシジオイデス症	4		
	サル痘			
	ジカウイルス感染症	1		
	重症熱性血小板減少症候群	56		
腎症候性出血熱				
西部ウマ脳炎				
タニ媒介脳炎				
炭疽				

類型	疾患名	1週-39週		40週
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱	3		
	つつが虫病	113	8	
	デング熱	41		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	243		
	日本脳炎	2		
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	1		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ボツリヌス症	4		
	マラリア	19		
	野兔病			
	ライム病	23		
	リッサウイルス感染症			
	リフトバレー熱			
	類鼻疽			
	レジオネラ症	1488	9	1
レプトスピラ症	3			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	450		
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	186	2	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1320	11	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	27		
	急性脳炎	399	4	
	クリプトスポリジウム症	5		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	110	1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	582	4	
	後天性免疫不全症候群	765	1	
	ジアルジア症	19		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	207		
	侵襲性髄膜炎菌感染症	13		
	侵襲性肺炎球菌感染症	1211	9	
	水痘(入院例に限る)	260	8	
	先天性風しん症候群	1		
	梅毒	4168	59	2
	播種性クリプトコックス症	107	1	
	破傷風	80	1	
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	97	1	
	百日咳	2727	10	
	風しん	90		
	麻しん	12		
薬剤耐性アシネトバクター感染症	9			
指定	新型コロナウイルス感染症	53	5	

トピック

<ロタウイルスワクチンが定期接種になりました>

ロタウイルスは、乳幼児における胃腸炎の主要な原因ウイルスです。ロタウイルスの予防接種は、日本国内では2011年から任意接種にて行われてきましたが、2020年10月1日から公費負担による定期接種が始まりました。

■ロタウイルスの特徴

感染力が非常に強く、5歳までにほぼすべての子どもが感染するといわれています。乳幼児は、激しい症状が出る事が多く、特に初めての感染時は症状が強く出ます。下痢や嘔吐を繰り返し、重い脱水症状が数日続くことがあり、入院が必要になる場合があります。また、合併症としてけいれん、肝機能異常、急性腎不全、脳症、心筋炎などが起こることがあります。

■ワクチンについて

1. 対象者

定期接種は2020年8月1日以降に出生した0歳児が対象となります。2020年7月31日以前に出生したお子さんは、これまで通り任意接種となりますのでご注意ください。

2. 接種スケジュール

初回接種は生後6週から14週6日までに受けることが推奨されています。以降の接種は使用するワクチンの種類(現在2種類販売)により異なります(図)。

3. 注意点

接種後1～2週間は腸重積症のリスクが通常よりも高まるとされています。突然激しく泣く、機嫌が良くなったり悪くなったりを繰り返す、嘔吐する、血便が出る、ぐったりして顔色が悪い、といった症状が見られたら速やかに医療機関を受診するようにしてください。

* 予防接種に関するご相談は、お住まいの市町村、かかりつけの医療機関にお問い合わせください。

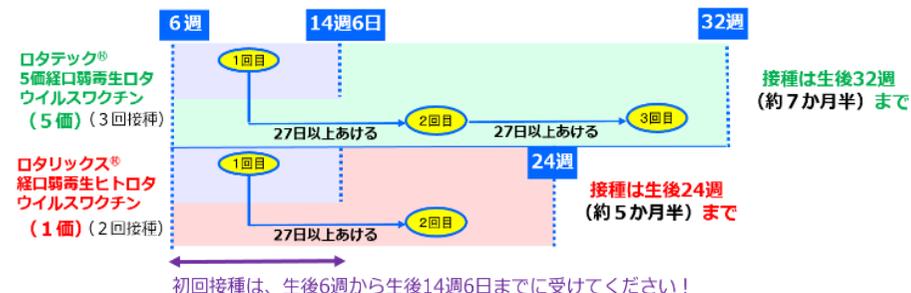


図 ロタウイルスワクチンの標準的接種スケジュール (厚生労働省webページより抜粋)

感染症の集団発生報告

かぜ様症状の集団発生報告が1件ありました。

所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状
			利用者(園児、入所者等)	職員	計		
五城目町	もりやまこども園	10/2	158 名のうち 70 名	40 名のうち 1 名	71 名	9/28 ~ 10/2	発熱、咳、鼻汁



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		